

□Haseung_ダイカスト技術的な優位性及び特長に関する



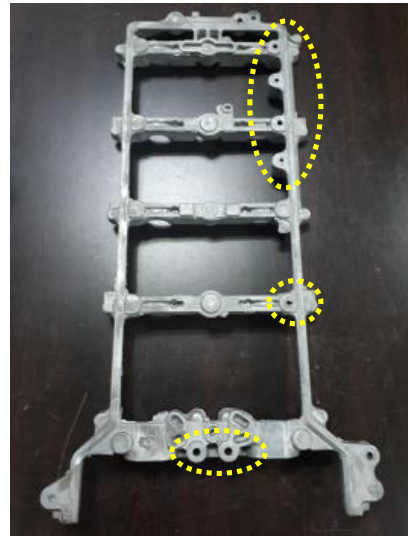
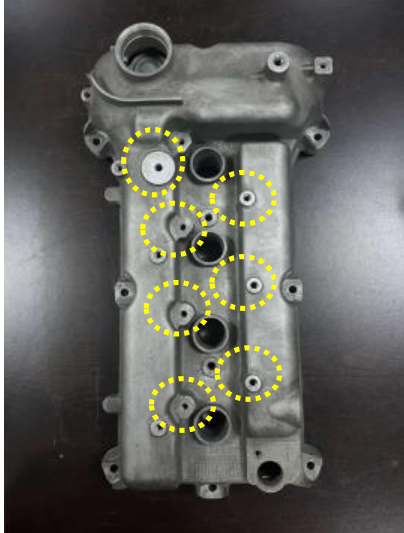
作成日付:2021年4月26日(月)

1.ダイカスト技術的な優位性及び特長

※ ダイカストマシンを利用する多様な製造経験を保有。

1) スクーラー(急速冷却装置)を利用して鑄造部品の主要部を急冷却するダイカスト技術。

例えば、自動車エンジン組立部の主要部品類。



2) 高真空ダイカスト技術

金型内部の一部空間にシリコンを注入して鑄造品の精密度を高める。

例えば、自動車(電気車、水素車)関連部品類。

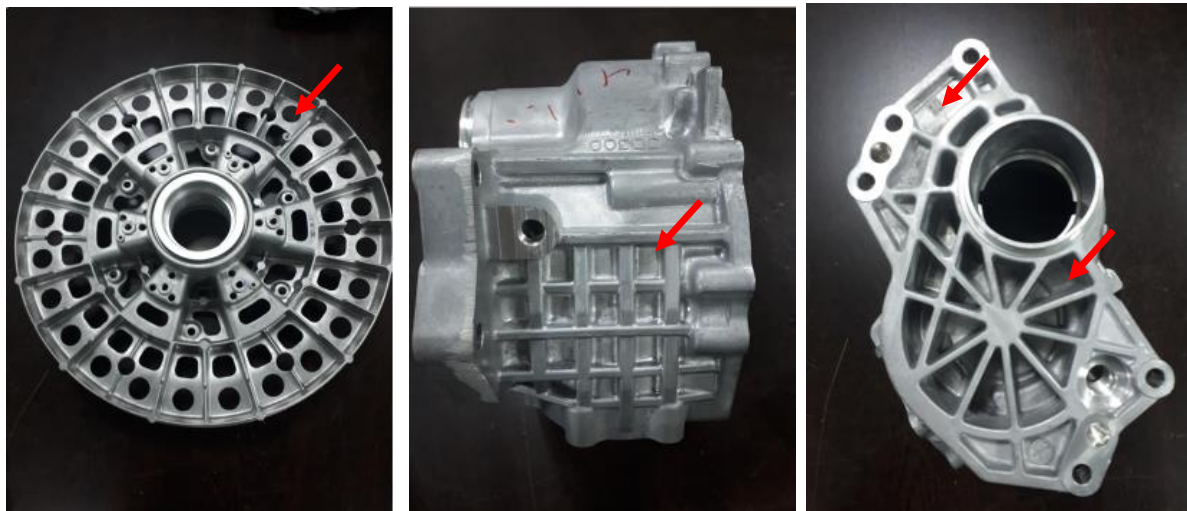


3) 薄肉化による軽量化、鑄造品精度が高いことによる加工の少なさ、鑄造材料ロス of 少なさ、等

当社はコストダウンするために現在進行中。

- 鑄造品の耐久性、油漏れ等を考えに入れて自動車の場合には暑さは最初3mmを基準。

- 電気電子、生活部品類、産業用部品等、製品による加工ない品目も多い。



2.顧客発注品のCADデータから迅速な金型設計可能。

※ 弊社は金型製作社と最初設計(CADデータ)段階から金型製作するために早めに協力システムを構築しております。

3.その他

※ 輸出実績(間接経由)

- 現在、日本キャノンケミカルに産業用エアクリナー(現場用)量産モデル6種を輸出。

- 韓国DTRを通じてブラケット類をアメリカDTRへ定期物量を供給中。

※ 現在、韓国市場には弊社を含めて品質・技術競争力がある企業を中心に物量が集中しております。

※ 弊社は海外市場、特に日本市場に直接進出を希望しておりますので、ご協力お願い致します。